

令和7年度山口市美術展覧会講評

大賞

「十二支 (やっとそろいました)」

山本 洋子



その表情。その仕草。すべてが美しく愛らしい。作品名の「やっとそろいました」は制作者の声であり、この干支らの声のようにも聞こえる。「やっと全員が揃ったぞ！」と歓声があがり、これから「宴」が始まるかのよう。そんな多幸感に包まれている。どれほどの時間を費やしたことか。研鑽を重ね続ける姿勢が、ありとあらゆる箇所にもまで宿っており、その手仕事の素晴らしさに目を奪われる。「いつまでも愛でていたい」と思わせる珠玉の一点である。

(小橋 圭介)

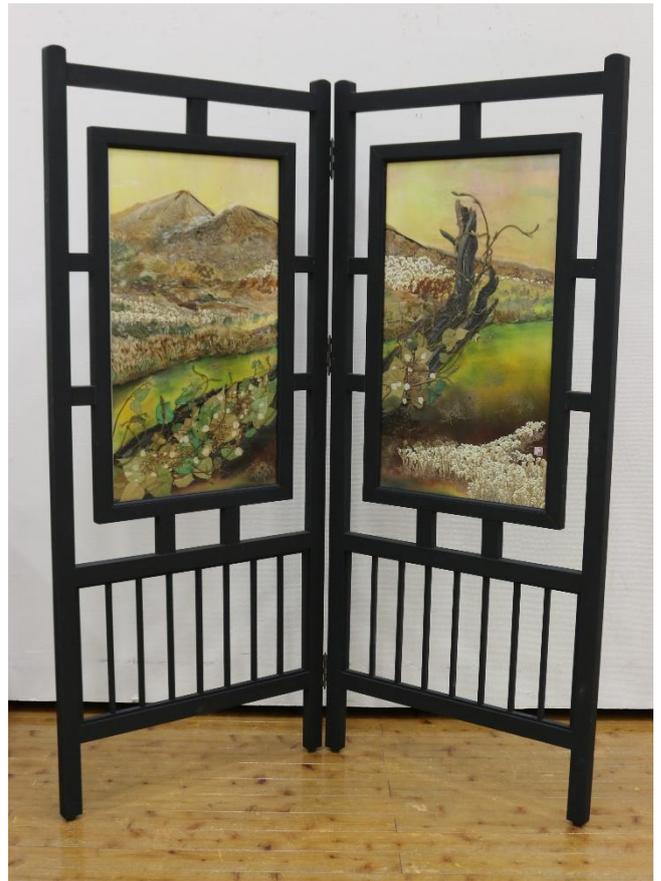
準大賞

「山母子の咲く野山」

原田 吹江

美しい山野の風景、黄昏時であろうか。手前の巨木と遠景の山々、上部の淡い色合いと下部の濃い色合いなどから奥行きが感じられる画面である。本作の絵画的表現に感嘆するも、その本質であり驚くべきことは、本作が押し花により構成されていることであろう。一体、何種類の植物が、いくつの植物が使われているのだろうか。所々に絵の具で彩られた草葉があり、あるいは何層にも重ねられた草花など、自由な発想と豊かな工夫がおりなす世界が、そこにはひろがっている。

(関根 佳織)



山口市教育委員会賞

「musubi」

森村 安奈

画面には無数の小さなモチーフが散りばめられ、作者の日々の出来事や記憶、感情の断片を象徴している。個々の要素は自律性を保ちながら有機的に結びつき、画面に大きなリズムと有機的な形を生み出している。

また、柔らかな色彩と繊細な描画によって構築された画面は、個々の断片が重なり合うことで、宝石のようにきらめく日常の時間を可視化している。そこには、特別ではない日々の中に潜む幸福や、他者との関係性によって生まれる豊かさといった作者の静かな思いが感じられる。

(難波 章人)



山口文化協会賞

「崔子玉座右銘」

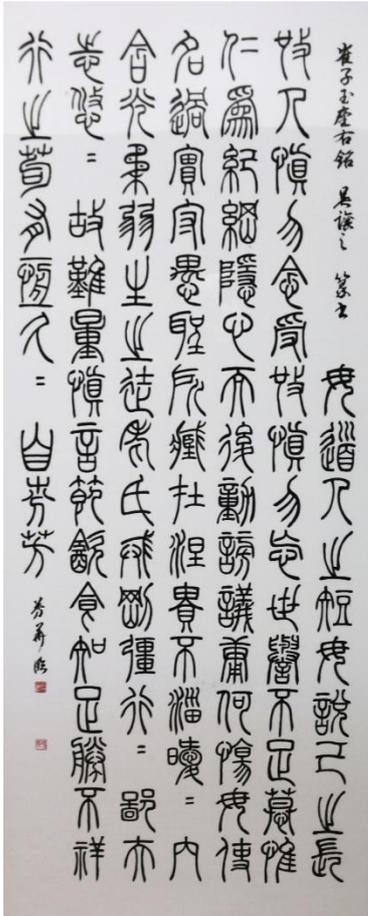
清水 久美子

座右銘は人としての生き方を説いた漢詩である。この百文字に込められた内容を篆書体で見事に表現している。楷書体とは違いやや解読しにくいのが、全体を流れる気品と明るさが、鑑賞者の眼を引き付ける。

造形美の縦対横は3：2、起筆も蔵鋒、線の幅も一定で揺るぎない。横面の水平感が気持ち良い。筆圧を一定に保ちながらも、線は強く紙面に食い込んでいるではないか！相当の力量の持ち主であろう。

書き出しの11文字、落款の3文字の行書体もよく書き込まれていて本文と調和している。

(松田 鶴信)



おごおり文化協会賞

「明と黒」

川上 弥香

左右でひとつの組写真。同じ建物のある日の情景のようだ。室内の照明は消されており、誘導灯と消火栓灯のみが点いている。休日なのか人影もなく静寂そのものである。

気になるのは、誰もが座われる長椅子と一人掛けのパイプ椅子。よくぞこんな組み合わせが閃いたものだ。常日頃から内的世界を投影できる心象風景を探していたのだろう。光と影に身を任せる。手前の闇を黒く強調していることで視線はおのずと明るい方へ向く。心理描写を味わう奥深い作品に仕上がっている。

(有田 順一)



奨励賞



「真昼の休憩」

星川 勲子



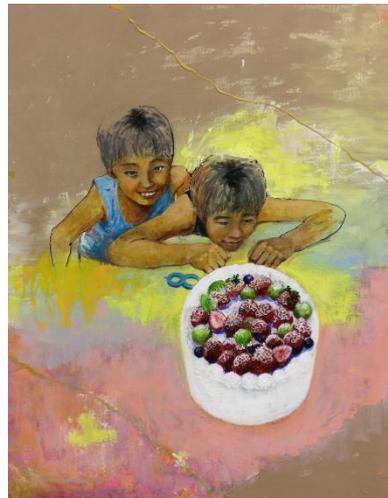
「青い群峰」

山下 正子



「彼岸の朝」

佐々木 研己



「わたしをお母さんにしてくれて

ありがとう#8

～50号のバースデーケーキ～

正木 智絵



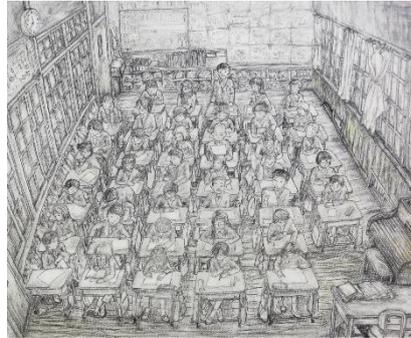
「荊叔詩」

大下 忍

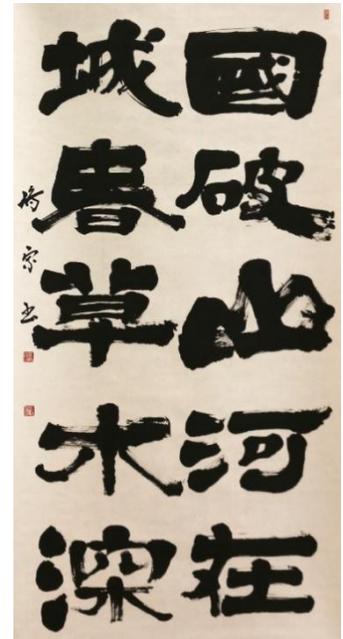
審査員特別賞



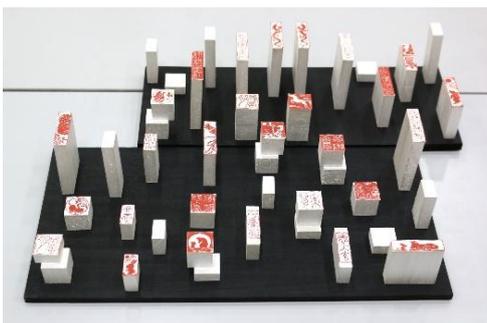
「ごはんだよ〜」
村田 賢二



「ロクネンヨンクミ」
中嶋 雅子



「国破山河在」
眞砂 義明



「印影、無我、時を忘れる。」
響月



「密やかに咲く」
倉田 美絵

◆ 総評

今年も審査会が始まりました。部門毎に区分けされた作品の数々、138点圧巻です。一人の鑑賞者として作品の前に立ち止まり、共感したり、感心しながら対面していきました。

山口市美術展は14才～93才と何と幅広い年齢の方々の出品です。それぞれの訴え、叫びが届いています。格調の高さと創意工夫が入り混じっていてとても楽しい。

あっこれはいいなと思うものを審査員5人が協議していきます。見方が分かれて折角の作品が！お一人お一人が1年間かけて取り組んだ作品ですので、慎重に審議しながらも、優劣を決定しなければなりません。大変難しいし、緊張します。

しかし、制作を継続された作品は、深みが増し、訴える力がどんどん増してきた気がします。確実に審査員の心に響いてきています。

今年もワクワクさせてもらいました。熟成された作品、発展途上のもの、どちらも大好きです。ありがとう。

(審査委員長 松田 鶴信)

(審査員)

有田 順一	周南市美術博物館館長
小橋 圭介	山口県立大学国際文化学部准教授
関根 佳織	下関市立美術館学芸員
難波 章人	山口芸術短期大学准教授
松田 鶴信	書家・山口東京理科大学非常勤講師

(五十音順・敬称略)

令和7年度山口市美術展覧会受賞者一覧

賞	部門	作品名	作者氏名 (敬称略)	年齢
大賞	工芸	じゅうにし 十二支(やっとそろいました)	やまもと ひろこ 山本 洋子	82
準大賞	その他	やまははこ さきのやま 山母子の咲く野山	はらだ ふきえ 原田 吹江	91
山口市教育委員会賞	絵画	むすび musubi	もりむら あんな 森村 安奈	29
山口文化協会賞	書	さいしぎよくざゆうのめい 崔子玉座右銘	しみず くみこ 清水 久美子	70
おごおり文化協会賞	写真	めい くら 明と黒	かわかみ みか 川上 弥香	37
奨励賞	絵画	真昼の休憩	ほしかわ くんこ 星川 勲子	65
//	絵画	わたしをお母さんにしてくれてありがとう#8 ~50号のバースデーケーキ~	まさき ともえ 正木 智絵	57
//	工芸	あお くんぼう 青い群峰	やました まさこ 山下 正子	68
//	書	けいしゆくし 荊叔詩	おおした しのぶ 大下 忍	50
//	写真	ひがん あさ 彼岸の朝	さきさき けんじ 佐々木 研己	72
審査員特別賞	絵画	ごはんだよ~	むらた けんじ 村田 賢二	75
//	絵画	ロクネンヨクミ	なかしま まさこ 中嶋 雅子	76
//	絵画	ひそ やかに さ 密やかに咲く	くらた みえ 倉田 美絵	52
//	工芸	いんえい むが とき わす 印影、無我、時を忘れる。	まきうげつ 響月	61
//	書	くにやぶれてさんがあり 国破山河在	まさご よしあき 眞砂 義明	61

※年齢は3月1日現在

※奨励賞・審査員特別賞は、部門別、作品番号順